

地域と連携した健康教育の実践

Practice of Health Education in Partnership with Local Communities

松村 聡・畑 明寿・岡林 徹・工藤 芳子
福留 伸幸・三村 邦裕・藤谷 登

Satoshi MATSUMURA, Akihisa HATA, Tohru OKABAYASHI,
Yoshiko KUDO, Nobuyuki FUKUDOME, Kunihiro MIMURA
and Noboru FUJITANI

銚子市は、「健康スポーツ文化都市宣言」を掲げ、事業の一つとして市民の健康意識の向上を目的に5年前から「健康まつり」を実施している。本学の臨床検査学コースの教員や学生も第1回から、臨床検査技師教育の一翼を担う方法の一つとして参加してきた。この結果、学生からは、検査を受ける人たちへの対応の難しさや、検査値から得られる情報の重要性を再認識したなどの感想が得られ、一方、参加している市民からのアンケートでは、対応が親切で良かったなどの感想が得られた。この「健康まつり」の体験学習を通して、学生は、コミュニケーション能力や臨床病態に関する知識、そして問題解決能力の必要性を短時間で学んだと思われる。また、参加している市民からの感想を得ることができたことは客観的な評価を受けることで体験学習ばかりでなく教育の一環としてフィードバックすることができ、より充実した健康教育につなげることができたと考えられる。

1. はじめ

日本の人口の65歳以上は、本年、24.1%を占め、3000万人を突破した¹⁾。本学は、千葉県の最東端に位置し、漁港の町として知られている銚子市にある。銚子市の65歳以上の人口は、全国平均を上回り約30%にのぼる高齢の市である。そこで、銚子市は「健康スポーツ文化都市宣言」を掲げ²⁾、健康・スポーツ・文化に関する情報や体験の場を市民に提供している。この事業の一つとして市民の健康意識の向上を目的に5年前から「健康まつり」が実施され、本学の臨床検査学コースの教員や学生も第1回から参加し、学生の学外での教育、地域に密着した奉仕活動を行

なっている(図1)。「健康まつり」の参加団体は、銚子市医師会、歯科医師会、看護協会などで、イベントは健康相談、歯周病危険度測定、血管年齢測定、骨密度測定などを行っている(表1)。

表1 健康まつり 内容の一例

団体	内容
銚子市医師会	医師による健康相談
銚子市歯科医師会	歯科医師による歯周病の危険度チェック
千葉県臨床工学技士会	CAVIを用いた血管年齢測定
下総放射線技師会	放射線技師による骨密度測定
千葉県看護協会	看護師による血圧測定
銚子市薬剤師会	薬剤師による薬についての相談
銚子市消防本部	救急救命士によるAEDの操作体験
銚子市民生部健康管理課	管理栄養士による栄養相談

連絡先：松村聡 smatsumura@cis.ac.jp

千葉科学大学 危機管理学部 医療危機管理学科

Department of Medical Risk and Crisis Management,
Faculty of Risk and Crisis Management, Chiba Institute
of Science

(2012年10月1日受付, 2012年12月17日受理)



図1 参加学生(尿検査)(2010年)

2. 方法

2. 1実施内容

本臨床検査学コースでは、これまでにパネルの展示、組織標本の解説、尿検査、手洗い検査、サーモグラフィ、肺活量測定を行ってきた。具体的には、主に腎をテーマに据え、尿生成過程やその尿の検査でわかることをまとめたパネルを展示し、また実際に尿試験紙法による尿検査を実施したり、尿生成に重要な腎の組織標本を顕微鏡で観察してもらったりした。その他、糖尿病患者の末梢循環障害の検査や新型インフルエンザの流行で発熱を検知するために用いられるサーモグラフィや感染予防には欠かせない手洗いを丁寧に行っているかをチェックする手洗い検査、肺機能を調べるために行う肺活量の測定をイベントとして実施した。なお、肺活量測定は、第3回まで実施し、それ以降については新型インフルエンザの流行を考慮して行っていない。

2. 2参加スタッフ

臨床検査コースの3,4年生が主に活動している。参加スタッフの人数は、教員7名、学生8名(2011年)である。スタッフの数は、我々のイベントブースの規模や内容から現在の人数で十分実施できるものであるが、教育の一つとして健康教育の実践という意味では、多くの学生に参加してもらいたいため、2年前からボランティアとして臨床検査学コースだけでなく他コースの2,3年生らも参加してもらい、「健康まつり」全体の進行や他のイベントのサポートにも加わってもらった。これにより、2,3年生のあいだに健康まつりのサポートを行うことで、全体の実施内容を知ってもらい、3,4年生になった際にはコースのイベントを行うという一連の流れができあがり、円滑に健康まつりに参加することができるのではないかと考えた。

2. 3アンケート

本学による学生へのアンケート調査を実施した。また銚子市による健康まつりのアンケート結果を集計した。学生へのアンケートは主に健康まつりに参加して感じたことや思ったことを調査した。銚子市によるアンケートは、「企画で良かったもの」「参加した感想」「改善してほしいこと」等であった。

3. 結果

3. 1実施結果

2011年の銚子市によるアンケート回答数は205名であり、このうち以前にも健康まつりに参加した人は、57%と半数を超えた(表2)。企画で良かったものというアンケートでは、39項目があげられ、そのうち本学に関係しているイベントでは表3のようであった。また、表3のイベントを実際に体験した人数は表4に示す結果であった。このことにより参加者の約半数は、どの項目でも良かったという感想が得られた。

表2 来場状況

	人数	率 (%)
初めて	86	42
来たことがある	117	57
未記入	2	1

表3 企画でよかったもの(抜粋)

項目	評価人数
尿検査	40
サーモグラフィ	30
手洗いチェック	14

表4 体験者数

項目	人数
尿検査	81
サーモグラフィ	60
手洗いチェック	40

3. 2学生アンケート結果

本学による学生のアンケート調査では、下記のような感想を得た。

- ・人に対してわかりやすく検査の内容や趣旨を説明することが難しかった。
- ・学内実習では体験できないコミュニケーションの重要性を実感した。
- ・検査を受ける人たちに対し迅速に対応する難しさを感じた。
- ・検査の重要性を再認識した。
- ・機会があればまた体験したい。
- ・高齢者を誘導するのが難しかった。
- ・疑問に思っても患者は、病院では聞きづらいこともあることがわかった。
- ・いろいろな尿検体をみることでできた(血尿、乳び尿、タンパク尿、尿糖など)。

3. 3 参加者からの感想

2011年の銚子市によるアンケート調査のうち、本学に係っていると考えられる感想は下記のものであった。

- ・尿検査や血管年齢測定など身体のことの方がわかり良かった。
- ・手洗いチェックが良かった。
- ・学生さんの優しい対応に感銘を受けました。
- ・学生さんが懇切丁寧に説明してくれた。
- ・検査を受ける順序を示してほしい（サーモグラフィ）。

4. 考察

4. 1 実施結果

表3よりパネルや標本の展示・解説ではなく、尿検査やサーモグラフィ、手洗い検査が企画でよかったものとして挙げられたことから、参加者は、体験型のイベントに興味があったことがわかる。

4. 2 学生アンケート結果

学生からは、検査を受ける人たちの対応の難しさや、検査値から得られる情報の重要性を再認識したなどの感想が得られた。この感想は毎年同様のことから、「健康まつり」の体験学習を通して、短時間で学生はコミュニケーション能力や臨床病態に関する知識、そして問題解決能力の必要性を感じたのではないかと考えられる。また、このことは体験型のイベントだけでなく専門的な内容をわかりやすく解説することが必要なパネル展示や標本観察でも重要であり、今後もこれらをイベントとして実施していくべきであると考え（図2）。



図2 参加者対応の様子(2011年)

4. 3 参加者からの感想

参加当初はみられなかったが、今回（2011年）は参加している市民からの感想を得ることができた。これは、継続的な参加とボランティア学生も参加することにより「健康まつり」にかかわる人数が増えたことで、参加する市民に触れる機会が増えた結果、市民からの感想が得られやすくなったのではないかと考えられる。これにより、客観的な評価を受けることで体験学習ばかりでなく教育の一環として、その感想を学生を含めた実施する側にフィードバックすることができ、今後のより充実した健康教育につなげることができると考えられる。

5. まとめ

医療人として必要な素養は、知識や技術はもとより、人間性豊かで高い倫理性を兼ね備え、生命に対して深い畏敬の念を持ち患者のための医療を行え、さらに医療全般にわたり広い視野と見識を持ち、他の医療従事者との連携をとりながら協力して医療に貢献できることである。この「健康まつり」の体験学習を実施して、学生の真摯な態度をみると何かしらの医療に対する心構えや情意を得ることができたのではないかと考えられる。このことは学内の教育では容易にできない価値あるものと思われる。今後も学生の体験の場として地域と密着した奉仕活動に取り組んでいきたい。

参考文献

- (1) 総務省統計局 人口推計-平成24年9月報-, 平成24年9月20日
- (2) 銚子市総合計画「銚子ルネッサンス2025」第二次基本計画